

瀬部小だより 1月号

平成17年1月11日



1 あけましておめでとうございます。

2005年がいよいよ始まりました。 本年はさらに保護者の皆様と地域の皆様との連携を深めて、子どもたちの幸せのために尽力したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2 瀬部小ホームページで、算数の勉強ができる

瀬部小ホームページのリンク集の活用をしてみてください。

1年算数を中心に活用できます。大変わかりやすく子どもたちも興味をもって楽しく算数が覚えられます。

内容は以下のとおりです。

- ・1ねん くりあがりのあるたさしざん
- ・1ねんせい さんすう
- ・1年たしざん
- ・たしざんどうじょう
- ・ひきざんどうじょう
- ・ひきざん1ねん くりさがり

ぜひ、ご活用ください。



3 1月26日(水)に標準学力検査を実施

学年の学習目標に応じた、子どもたち一人ひとりの個人の学力が、どの程度ついているかを、算数と国語に絞って、テストします。このテストを標準学力検査といいます。

この検査を通して、現時点での学年に応じた個人の学力状況をつかみます。

そして、このテストの結果を元に、2月中旬以降は、一人ひとりにあった補充学習を実施し、次の学年での学習に困らないように学力をつけて、進級させたいと考えております。

検査結果は、お子様を通じて、ご家庭に2月末には配布させていただきます。自らの課題を自らが、解決していけるよう、子どもたちのモチベーションを高めて、検査を受けさせたいと考えております。保護者の皆様のご理解をお願いいたします。



3 自己肯定感の持てる子

問題を抱えている子どもの多くは、他をかなり意識しています。そして、他と比べて、「自分を否定的に見てしまう」「自分が好きになれない」といった感情を持っているようです。これが子どもたちを問題行動へと向かわせる一要因であるとも言われています。

子どもを常に励ますことを職員に述べています。子どもたちが自信を持って生活できるように配慮していかなければなりません。否定的な言葉は、子どもの自信をなくします。私たちでも、最も簡単にできることは、相手を批判することです。相手の悪いことをあげつらうことです。それはまったく非生産的です。その反対に、相手の良さを見つけることは大変至難な業です。これは、創造的です。しかしながら、自分の規準をもって人を見ている限り、相手の良さを見つけることはできません。否定的な言葉を、肯定的な言葉で返してやりたいと思います。例えば、テストで悪い点を取った子どもに「何で、できないの！本当にだめな子！」と言いたいのを「ここが難しかったのね。もう一度やってみましょう。」と余裕をもって接してほしいのです。それでもできなかつたら、「またできるようになるから、今度がんばってみましょう。」と励まし続けたいと思います。私たち大人にしても、「自分のこういうところを見てほしい」と思うものです。子どもたちに「自分に自信を持って前向きに生きていけるよう」に育ててやることこそ、私たち大人の使命だと思います。ともどもに子どもを褒めて励まして行きたいと思います。



4 瀬部小安全マップ



子どもたちの安全・安心を願って、瀬部校区内の300件以上のご家庭や営業所等の協力を得て、「子ども110番の家」が設置されています。この「子ども110番の家」を子どもたちの協力を得ながら、瀬部小安全マップとして作成しました。ホームページにも掲載していく予定です。さらなるご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

5 ご意見・感想などがございましたらお寄せください。

